

平成24年度 在宅医療連携拠点事業成果報告

2013・3・23



宮城県石巻市立病院開成仮診療所
在宅医療連携拠点事業所

地域の概要

■ 宮城県石巻市



人口	152,158人
面積	555.78km ²
高齢者人口	40,502人
高齢化率	26.3%
要支援・介護認定者数	6,880人
要介護認定率	16.9%
医療資源 ・病院	7ヵ所
・診療所	87ヵ所
(うち、在宅療養支援診療所7ヵ所)	
在宅死率	12%
地域包括支援センター	12事業所

石巻市公式ホームページより



石巻市立病院から開成仮診療所へ

石巻市立病院は、平成10年に206床の急性期病院として開院。

沿岸部に位置していた為、東日本大震災の津波被害によりその機能を失った。

石巻市は東日本大震災の最大の被災地である。(H24. 12月末現在)

死者 3490人(関連死含)

行方不明者 453人

全壊家屋 18560棟

半壊・一部損 12706棟

石巻市公式ホームページより

市内の医療機関も壊滅的な被害を受けるが現在では9割程が回復している。



石巻市立病院から開成仮診療所へ

平成24年5月31日、約1800世帯の仮設住宅が立ち並ぶ地区の総合運動公園内に仮診療所を開設。

外来診療のほか、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・仮設支援の保健活動を行っている。

開院当初からの活動目的

- 外来 — プライマリ・ケア、とくにメンタルケア
- 保健活動・生活支援活動との連携・支援
- ボランティアとの連携と引き継ぎ
- 仮設住宅自治会活動や地域での支えあいとの連携や支援
- 在宅ケアから地域包括ケアへ向けた取り組み
- 復興の街づくりや地域保健や介護計画に関与
- 東北にプライマリ・ケアの拠点をつくり、人材育成を行う



在宅医療連携拠点が行う事業

■ 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

● アンケートの実施

➤ 目的

医療・介護資源調査
連携課題の抽出

➤ 調査期間

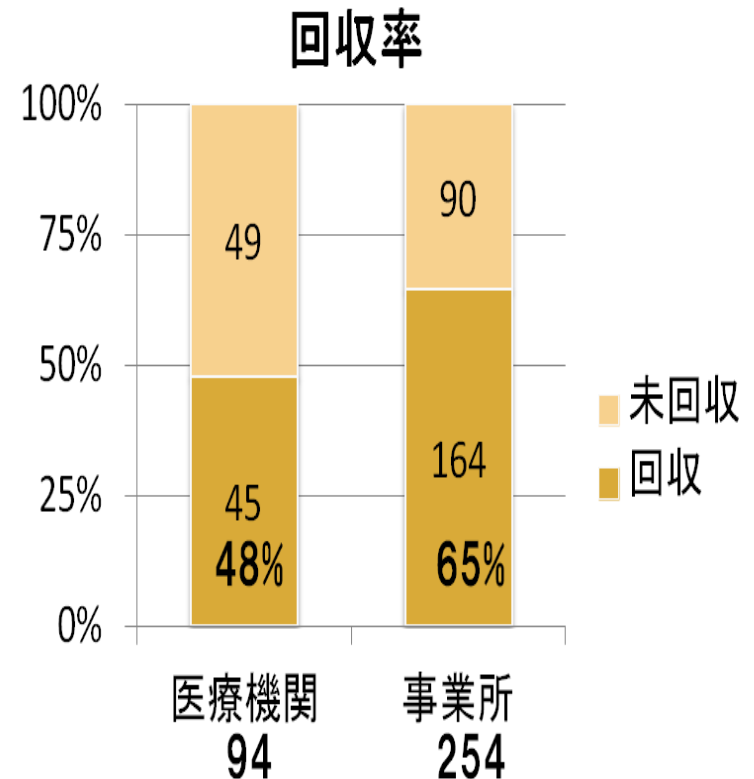
平成24年9月8日(土)
～9月17日(月)

➤ 調査対象

石巻市内の主な医療機関・
介護サービス事業所等
⇒348力所

➤ 方法

調査用紙郵送による質問紙法

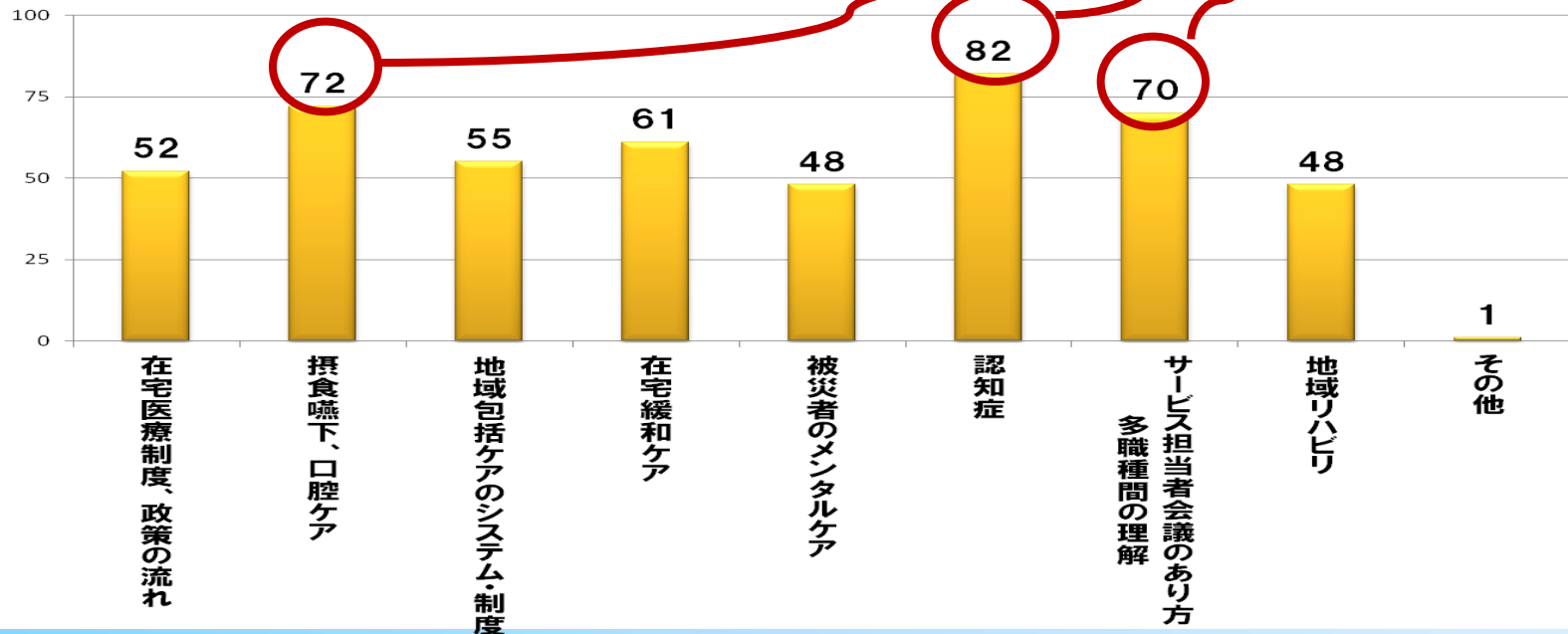


アンケート結果

多職種連携の課題

- 医療機関との連携が難しい
- スムーズな情報共有が不足
- 多職種間でのお互いの理解が不足
- 交流の機会が不足

関心が高い
勉強会



多職種合同研修会の開催

- ・他施設の研修会との兼ね合い、アンケート結果をもとに計画
- ・多職種混合のグループワークや懇親会を織り交ぜて企画

回数	日程	主な内容	参加人数
第1回	10/27	地域包括ケアの推進について	99名
第2回	11/13	在宅における摂食嚥下・口腔ケアについて	124名
第3回	12/14	地域医療の連携 ～病院から診療所そして在宅へ	147名
第4回	3/9午前 3/9午後	中越地震での活動と地域包括ケアシステム 被災地での地域包括ケアと在宅医療連携点 事業の取り組み	46名 87名

医療機関に関する特徴

■ 問題点

アンケート結果から

- ・在宅医療に関心のある医療機関が少ない

被災以前から

- ・人口比における医師数が少ない
- ・代々続く開業医が多い
- ・後継者不在
- ・医師の高齢化が明らか



**在宅医療に従事する人材育成が難しい
そこで！！**



食彩・感動 いしのまき

在宅医療従事者増加をめざして

■ 実習受け入れ、セミナー開催等

- 研修医、医学生、看護学生の実習 計26名
- 学生セミナーの開催(4回) 計57名
- 学会での講演、研修会での講師 等を積極的に実施

➤ 受け入れの問題点

他県より復興関連での長期滞在者が多く、宿泊先の確保が困難

→寝袋持参で当診療所に宿泊したり、 ケア付き仮設住宅に宿泊



その他の活動実績

■ 在宅医療推進活動

講演タイトル	主催
在宅での看取り	家庭医療夏期セミナー
安全と安心の地域医療を守るために	JA長野厚生連佐久総合病院
地域リハビリについて	宮城県東部保健福祉事務所
「日本における多職種連携による地域医療福祉の創意と工夫」	日本保健医療福祉連携教育学会
地域包括ケアのまちづくり	さわやか福祉財団
石巻における地域医療の課題と今後の展望	東北厚生局
地域医療を通して石巻の再生を目指す	日本の医療を守る市民の会
がんの病診連携と在宅での看取り	石巻がん医療セミナー
地域包括ケアについて	さわやか福祉財団
地域の訪問診療について	岩手県立高田病院
病院・施設・在宅の看取り	宮城県遠田郡涌谷町
多職種連携による地域ケア会議の意義	宮城県長寿社会政策課
被災地石巻での活動	秋田県潟上・南秋ケアネット 小玉医院
	ほか 多数



被災地の特性を生かした支援

■ 仮設住宅における各種会議へ参加

会議名	頻度	当事業所からの参加者
稲井地区エリアミーティング	1回/月	医師・看護師・理学療法士・社会福祉士
保健コーディネーター会議	1回/月	医師・看護師・社会福祉士
自治会連合会会議	1回/月	医師・社会福祉士
開成ボランティア会議	1回/月	医師・理学療法士・社会福祉士
石巻地区在宅ケア連絡会	1回/1～2月	医師・看護師・社会福祉士
リハビリテーション支援事業会議	3回/年	理学療法士
災害復興協議会会議	1回/月	医師・社会福祉士

稲井地区エリアミーティング →



仮設内での多職種協働と会議

■ 保健コーディネーター会議 月1回

市全体の仮設の健康問題を考えるコアスタッフの集まり

被災対策市民課・健康推進課保健師・社会福祉協議会・エリアコーディネーター・診療所・仮設健康相談の看護師・リハビリ支援事業委託先・メンタルケア委託先

■ エリアミーティング 月1回

仮設内での問題ケースを現場関係者で共有

健康推進課保健師・3つの地域包括・県保健事務所・エリアコーディネーター・支援員・診療所・仮設健康相談の看護師・リハビリ支援事業委託先・メンタルケア委託先

■ 保健活動の展開(当仮設のみ、診療所が保健に参画)

地域住民への普及啓発

■ 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

● 在宅医療に関する知識普及のためのフォーラム開催

「在宅医療連携拠点事業について」

講師：長 純一（石巻市立病院開成仮診療所 所長）

「これからの介護に備えて」

講師：生島ヒロシ氏

日時：平成25年 1月25日(金) 13:30～

会場：石巻中央公民館ホール

参加人数：219人

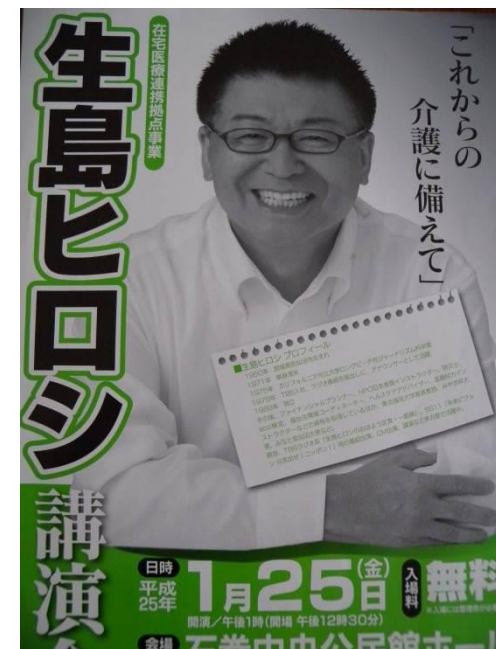
その他、

新聞や雑誌への在宅医療に関する

記事の掲載、テレビ取材等 多数あり！

さらに今年度は、

市報のコラム欄への掲載を予定。



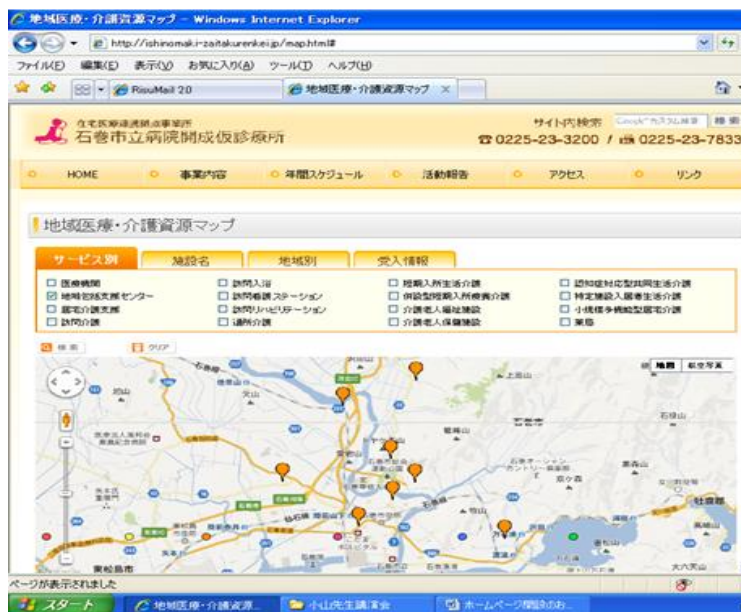
ホームページによる情報発信

ホームページ開設のお知らせ

3月1日より開成仮診療所のホームページを公開しました。

(URL <http://ishinomaki-zaitakurenkei.jp/>)

ぜひ一度、ご覧ください。



厚生労働大臣（当時）視察



今後の課題

- 地域ケア会議の開催支援
- 保険薬局、歯科診療所との連携
- 医師の増員により訪問診療体制を強化し、他機関の在宅医療従事者に対する負担の軽減も図る
- チーム医療を提供するための情報共有システムの整備



ありがとうございました

